

④【和の心で世界を救おう!】

私は友人たちから10年遅れで就職活動をした。

さんざん断られ、唯一採用といってくれた呉服屋さんで、人生の再スタートをきることにした。
そして10年勤めて、5年前に独立した。

自分のやりたい仕事につける人はなかなかない。だが、どんな仕事でも、その気になれば立派な社会貢献が出来ると思う。

世界の人口がやがて100億になろうとしている現在、人間同士が自己主張ばかりしていたら地球はつぶれてしまう。

今、大事なものは人を思いやる心、和の心だと思う。そして着物は和の心の結晶。

着物の販売を通じて、一緒に山陰から世界に和の心を発信しましょう!!」

こんな話をしました。

⑤【働こう!】

「働く・はたらく」とは、はたを(まわりを)楽にすること!!

日本人は労働を美德とする数少ない民族だそうです。

どんな仕事であれ、そこには喜びを見出せるはず。

みんな、精一杯、働きましょう!!



ENJOY! 着物のコーナー

「ルーツを訪ねて…」

一、【手がかりは二つ】

「我が家はもともとどこから発生したのか?

ルーツを探るにはどうすればいいのか?」

こんな質問を、ラジオなどでたまに頂きます。

それを探る最も大きなたがかりは二つ。家紋と、苗字です。



和想館講演会より

二、【苗字】

苗字というのを、国民全員がもちだしたのは、明治8年の苗字必称令がきっかけです。

それまでは、武士や公家などの特権階級しか、苗字を持ちませんでした。庶民は、タゴサク、ハナ、ウメ…と、名前のみ。

苗字必称令と共に、庶民も苗字を名乗るようになったのですが、8割の方は地名から採った